

令和5年度補正予算二案に対する討論

国民民主党・無所属クラブ

齋藤アレックス

国民民主党の齋藤アレックスです。

私は、国民民主党・無所属クラブを代表して、ただいま議題となりました政府提出の令和5年度補正予算二案について賛成、国民民主党・無所属クラブ提出の編成替えを求める動議に賛成の立場から討論を行います。

我が国では、記録的な円安の影響で、急激な物価高が進行しており、物価高対策は国民生活と国内経済のコロナ過からの回復を促進する上で必要不可欠です。また、物価高の影響も重なり、実質賃金の低下がさらに深刻となるなか、賃上げに資する政策を総動員する必要性もますます高まっています。

このような認識のもと、国民民主党・無所属クラブは、給料が上がらない我が国の経済、未だ脆弱な少子化・子育て支援策、農林水産業への支援、ガソリン等の物価高騰に対処し、真に国民生活を支える内容に令和5年度補正予算を変える編成替え動議を本委員会に提出しました。委員の皆様にはぜひともご賛同いただくことを重ねてお願い申し上げます。

政府提出の令和5年度補正予算2案については、去年の補正予算同様、財政法第29条の規定により、法律上又は契約上の義務に属する経費の不足を補うほか、予算作成後に生じた事由に基づき特に緊要となった経費の支出をお香場合に限り認められているところ、緊要性があるとはとても考えられない基金・ファンドの組成や積み増し、予備費が依然として多額に計上されているなど、問題も多く存在しています。政府には、国民民主党を含めて、野党から指摘されたこれらの問題点に関して、真摯にそれを受け止めることを重ねて強く求めます。

一方で、先日の衆議院予算委員会において岸田総理は、トリガー条項の凍結解除に関し、与党と国民民主党との間で検討する考えを表明しました。政府は年末で期限を迎える措置期間を2024年4月末まで延長しました。そもそも、税金を取って配る過程で税金のムダづかいが生じるなら、取るのをやめる減税という方法がよいと考えます。やめる基準と手続きが明確なトリガー条項発動の方が、出口戦略としてもふさわしいと考えおり、トリガー条項の凍結解除は国民生活に資する必要な政策であると、国民民主党は強く実現を訴えてきました。

このトリガー条項の凍結解除の実現を期して、つまり、より効果的な物価高対策をさらに前に進めていくこと今後一層強く政府に求めていくために、わが党の編成替え動議が否決された場合でも、政府提出の補正予算には賛成させていただきます。

国民民主党は「対決より解決」、あくまで政策本位で行動し、国民のためになる政策を実現するとの姿勢を一貫してとってきました。今後も改革中道の立場から、国民のための政策を積極的に提案し、政府与党に実現を迫っていくことを国民の皆様にお誓いし、私からの討論とします。